

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市南吉成児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3 指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 25,369人(前年度比 111.5%) 令和5年度 22,750人 令和4年度 20,687人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 50,053千円(37,524千円) ・ その他市が負担した費用 0千円(0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)
	()は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
○児童健全育成事業 運営が当法人に代わり、事業の中で特に力を入れた「子どもスタッフの育成」「地域との交流」は、様々な事業を通して実施することができました。「児童館まつり」は企画から子どもスタッフが携わり、テーマを決め、割り当て、ブースごとに担当を決め、子どもスタッフが当日の運営の主役になりました。小学4年生から6年生までの児童が力を合わせて、職員と一緒にまつりをもちあげました。 ○子育て家庭支援事業 前団体が行っていた定例行事の「あそびましよう☆」「わくわく遊具day」「おはなし会」を引継ぎました。今年度は、さらに子育て支援クラブと一緒に「あそびましよう☆スペシャル」を7回行い、母親同士の交流や地域、異世代との交流に繋げることができました。 ○地域交流事業 仙台市の基本方針に従いつつ「のんびりゆったりみんながつながる児童館」をスローガンに事業を実施し、異世代が様々な形で交流することが出来ました。また、前団体から引き継いだ地域との繋がりを、様々な事業を通じてより深めることが出来たと思います。定例行事の「囲碁・将棋であそぼう」や「おはなし会」は、地域のボランティアの協力も得てスムーズに楽しく行うことができました。 ○放課後児童健全育成事業 子ども達の日々の生活を充実させるために、まずは子どもの話をしっかりきくように日々心掛けています。子ども達が放課後の時間を楽しく安全に過ごせるように、毎週職員全体でミーティングを行い、共有しました。また児童クラブの子ども達が異年齢交流の中で育ちあえるようなイベントを企画し、「かき氷を食べよう」や「カレーを食べよう」では、上級生が準備や調理を行って、皆で楽しく食べることができました。年度最後のイベント「お楽しみ会」は、サテライトの上級生が本館の下級生をダンスやビンゴ大会でもてなし、子どもたちが主体となって行事を行うことができました。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、「みんなであそぼう」を毎月実施し、多彩な工作等を提供している。こども達に人気のイベントとなっていることから2部制にしたり、児童クラブの児童は別日に実施する等により多くの児童が参加できるよう工夫している。また、こどもが自分達で遊びや遊具を選択したり片付けができるよう、児童館内の環境整備や遊具の見直しを行うなど、児童館での過ごしや遊びの充実を図りながら、主体性や自主性を育んでいる。 子育て家庭支援事業においては、「あそびましよう」を0歳児から就学前までのすべての年齢を対象として実施した。年齢や発達に合わせて遊びや活動を複数準備し、年齢差があっても楽しめるよう工夫している。「あそびましよう☆スペシャル」は子育て支援クラブと連携して、ダイナミックな遊びやクッキング、保護者のリフレッシュの場を提供する等様々な取り組みを通して子育て家庭を支援している。 地域交流推進事業においては、「権現山ハイキング」での自然体験、「囲碁・将棋で遊ぼう」「お話の部屋」など、地域の方の協力のもと充実した事業を展開しており、こどもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。社会福祉協議会と連携した「ふれあい交流会」は地域の方と昔遊びを通して地域交流や世代間交流を図りながら、こども達が新たな活動を通して自主性や社会性を育む機会となっている。 放課後児童健全育成事業においては、サテライトではバレーボールや鬼ごっこなど、こども達のリクエストを取り入れながら校庭に出て遊ぶ機会を積極的に提供しており、児童の心身の健康増進に努めている。児童館では、遊びのコーナーで工作したものを壁面装飾にするなど、それぞれの環境に合わせた活動を工夫しこども達の過ごしの充実を図っている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課